

Q まずは災害の基本的な知識を身に付けたい!

A 団体・企業・学校などに県職員がお伺いし、出前講座を行っています。出前講座のご相談は… ☎ 087-832-3241
また、南海トラフ地震に関するDVDを作成し、インターネットで公開しています。
詳しくは… 香川県 南海トラフ地震 DVD 検索



Q 災害に関する情報はどこで手に入るの?

A 市役所や町役場が配布しているハザードマップ(防災マップ)で、地域の災害リスクや避難所の場所がわかります。



「香川県防災ナビ」を、ぜひダウンロードしてください!

また、「かがわ防災Webポータル」でも地域の災害リスクが確認できるほか、発令中の避難情報などが確認できます。



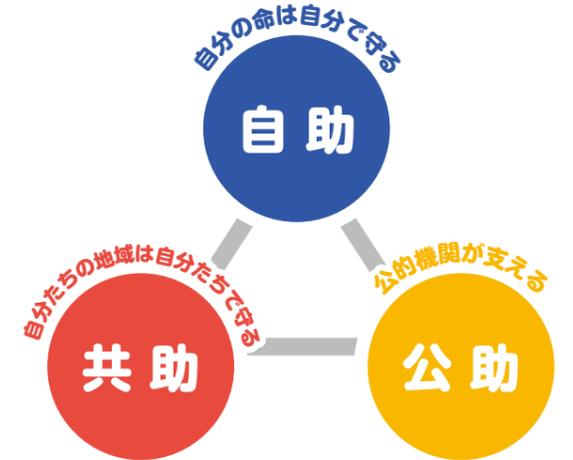
Q 地域を守る活動に参加したい!

A 防災活動をするために作られた地域の人たちの集まりである自主防災組織に参加してみませんか?
お住まいの地域の自主防災組織については、市役所・町役場の防災担当課にお問い合わせください。

自主防災組織の活動	平常時	防災訓練、備品整備、地区防災計画策定など
	災害時	避難誘導、救助活動、避難所運営、炊き出しなど

防災・減災

防災・減災対策は、
自助・共助・公助の役割分担
と連携が重要です



令和3年度に実施した県政世論調査で、こんな声がありました。



災害はいつどこで発生するか分からないので、対策は不可能だと思う

発生した災害による被害を少なくするための対策(減災対策)は、できることがたくさんあります。いつどこで発生するか分からないからこそ、普段から災害に備えておきましょう。



香川県では大規模災害が起こることはないと思う

香川県は、地形・地質を見ると、ひとたび大雨に見舞われると大規模な水害や土砂災害が発生する危険性があると言えます。実際、平成16年には、あいつぐ台風により、19名の方が犠牲になっています。また、南海トラフ地震も今後30年以内に70%~80%の確率で発生するとされています。



県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかわからない

堤防やため池の整備や公共施設の耐震化、県民のみなさんに自助に取り組んでいただくための情報提供や支援、災害が発生した際に迅速に対応するための体制整備などを行っています。



自分の命は自分で守る 自助

平常時

- ✓ **防災知識の習得** … ハザードマップなどで災害リスクや避難場所を確認したり、防災情報の意味や避難の仕方などについて知っておきましょう。
- ✓ **住宅の耐震化や家具の転倒防止** … 家の安全対策も忘れずに。耐震診断や耐震改修への補助制度も活用して、地震に強い家を目指しましょう。



災害が起こったとき

- ✓ **正しい情報の取得、提供** … 災害時には、誤った情報や根拠のない噂が流れることも。テレビやラジオ、自治体のホームページなどから、信頼できる情報を得るようにしましょう。香川県では、「かがわ防災Webポータル」や「香川県防災ナビ」などで情報発信をしています。また、誤った情報を流す側にならないようにも注意しましょう。
- ✓ **自らの判断による避難行動** … 適切な避難行動は、個人（家族）の状況や災害の状況などによってそれぞれ異なります。ハザードマップや気象情報・避難情報などに基づいて、自分で考え、行動することが必要です。



自助

平常時

- ✓ **地域の防災活動への参加** … 地域の防災訓練に参加したり、消防団や自主防災組織の活動に参加しましょう。



災害が起こったとき

- ✓ **避難、消火活動、救助の協力** … 阪神淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救出された人の約8割が、家族や近所の住民等によって救出されたという調査結果があります。大きな災害のとき、すべての現場にすぐに救助隊が到着することは困難です。住民同士での助け合いが重要です。
- ✓ **自主防災組織や消防団での活動（避難誘導・炊き出しなど）**
- ✓ **避難所の運営** … 避難所は、行政担当者だけでなく、避難者や自治会・町内会、自主防災組織、ボランティア団体等との連携で運営します。



共助

自分たちの地域は自分たちで守る 共助

食料、飲料水、日用品などの備蓄

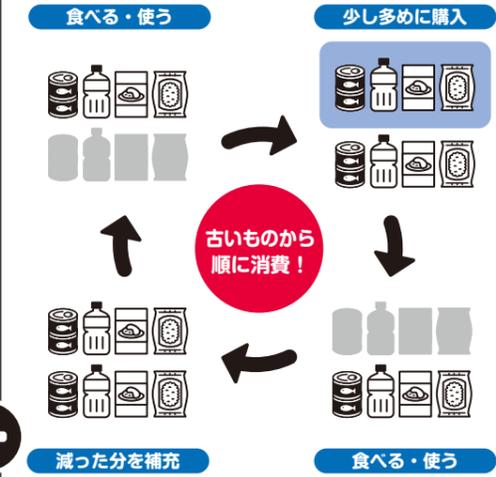
… 大きな災害のとき、支援物資がすぐに届かないこともあります。最低3日分（できれば1週間分）、自分や家族が生活できる備えをしておく安心です。取り組みやすい備蓄の方法としては、ローリングストックがあります。ローリングストックは、缶詰やレトルト食品、トイレトペーパーなど日常生活で消費するものを少し多めに買い置きして賞味期限が近づいたものは食べて、食べた分をまた補充するやり方です。

災害時に特に必要なもの



ローリングストックのイメージ

食べ物や日用品を少し多めに購入、日常生活で消費



常に少し多めの状態をキープ



公助



災害が起こったとき

- ✓ 消防や警察、自衛隊による救助活動
- ✓ 災害情報の収集・提供
- ✓ 支援物資の供給
- ✓ 避難所の開設
- ✓ 避難所の確保
- ✓ ハザードマップの作成

公的機関が支える 公助



平常時

- ✓ 堤防・砂防施設などの整備、公共施設の耐震化
- ✓ 防災知識の普及や防災教育の充実のための取り組み
- ✓ 食料、飲料水、日用品などの備蓄 … 南海トラフ地震が発生した場合に想定される避難所への避難者（119,000人）の約1日分の物資を、県と市町で協力して備蓄しています。また、自治体の備蓄で足りない物資を調達できるよう、民間企業などと災害時応援協定の締結も行っています。

